

大窪山森林公園のヒメホタル

ヒメホタル

和名：ヒメホタル 学名：Hotaria parvula

●全長：8mm前後

●見られる時期：7月上旬～中旬。
高温多湿の風のない夜。19時半～20時半ころ。

●生態：自然環境の良い湿潤な森林内で見られるホタル。全体的に黒色で胸部は淡赤色。幼虫は森林内の地面で生息し肉食性で陸生貝類を捕食する。

ゲンジホタルやヘイケホタルよりも発光が小さいが、黄色に激しく点滅する。オスは飛翔しながら発光するが、メスは草木につかまった状態で発光する。

●希少性：いわてレッドデータブックDランク
北上高地や奥羽山脈に広く生息する。国内では本州、四国、九州に分布するが、各地で減少傾向にある。



聖徳学園理科教材より

ホタル観察の注意事項！

- 寒くない服装で！夜露に濡れます。
- 光るものすべて禁止！ホタルは光を嫌います。カメラのフラッシュ厳禁！スマホの画面OFF！懐中電灯は非常時のみ。
- 写真はスマホやコンパクトカメラには写りません！三脚に固定した一眼レフのみ。（露光時間3分以上）
- クマやシカもたくさんいます。気を付けて！



観察のポイント

昼間のうちに下見しよう！

夜は街灯などの明かりは一切ありません。

明るい昼間のうちに、道路、駐車場、観察路を確認しましょう。

「もりの学び舎」で情報を得ることもできます。

国道45号線から一車線の舗装道路を、車で20分ほど走ると、夏虫山付近の道路沿いに海の見える小さな駐車場があります。

車はここに停め、徒歩でホタルのいる場所へ向かいます。

150mほど歩くと、大きな総合案内看板「大窪山森林公園案内図」が建っています。

この付近がヒメホタルを最も良く見ることが出来る場所です。

さあ観察にでかけよう！

夕方7時30分、完全に暗くなる前に、海の見える駐車場に到着しましょう。

ここから歩きます。

寒くなるので上着を着ましょう。空の明かりでライトが無くても歩けますが、非常時に備え懐中電灯などを持ちます。

駐車場から総合案内看板へ歩いていくと、途中からキラッ、キラッ、とヒメホタル特有の閃光が見え始めます。

夜8時には真っ暗闇になり、あたり一面たくさんの光が点滅し、ヒメホタルのイルミネーションに包まれます。

夜8時30分頃になると、光の数が減少してきます。ヒメホタルの活動は、日没後1時間で終わります。

帰り道はシカに注意して山を下りましょう。

ヒメホテル観察コース

